

広島市子供の読書活動推進のための取組（令和3年度以降） 数値目標及び重点施策の進捗状況

1 数値目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、自主的に読書をする子どもを増やします。

目標		過去4年間の実績 (平成28年～令和元年度の平均値)	進捗状況 (令和3年度実績)	目標値 (目標年度：令和7年度)	進捗状況の評価
1か月に1冊以上読書する子どもの割合 ※1	小学校5年生	89.3%	87.8%	90.6%	各方策の取組については、新型コロナウイルス感染拡大前の実施状況に戻りつつある。 しかし、広島県児童生徒学習意識等調査によると、3時間以上テレビをみたりゲームをしたりする子供の割合が増加しているとともに、1か月に1冊も本を読まなかった理由として「読書より他にやりたいことがあったから」が挙げられており、今後より一層、小・中学校と図書館が連携して、多忙の中でも読書への関心を高める働きかけに取り組んでいく。
	中学校2年生	82.9%	85.7%	83.8%	
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、読書をする子どもの割合 ※2	小学校6年生	80.9%	77.7%	83.7%	
	中学校3年生	68.7%	67.2%	70.8%	

※1 「基礎・基本」定着状況調査（広島県教育委員会実施）による数値。目標値は、過去4年間（平成28年度～令和元年度）の広島県全体の平均値とし、それ以上の達成を目指す。
令和3年より「広島県児童生徒学習意識等調査」となり、新たに「1冊より少ない」が選択肢に追加されたが、目標設定時の考え方と合わせた「読んでいない」を選択した児童生徒のみを除いた割合を進捗状況数値とする。

※2 全国学力・学習状況調査（文部科学省実施）による数値。
なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業の影響を考慮し、「基礎・基本」定着状況調査と全国学力・学習状況調査実施は、中止となった。

2 具体的な取組（重点施策）

基本方針	重点施策	実績		進捗状況 (令和3年度実績)	目標 (目標年度：令和5年度)	進捗状況の評価	担当課
		(令和元年度)	(令和2年度)				
家庭	幼稚園・保育園等における家庭での読み聞かせの促進【新】	実施園の割合 幼稚園 100% 保育園等 95.4%	実施園の割合 幼稚園 100% 保育園等 100%	実施園の割合 幼稚園 100% 保育園等 100%	全ての幼稚園・保育園等で、家庭において親子での絵本の読み聞かせを促す。	・全ての幼稚園で実施できており、引き続き取組を継続していく。 ・保育園等においては、コロナで中止としていた絵本の貸出を再開する。また、季節や発達段階に応じた絵本の紹介を園だより、クラスだより等で紹介や絵本の充実を図る。	指導第一課 保育指導課
地域	家庭読書アドバイザー※3の派遣による親子読書の推進	派遣回数22回 (家庭読書アドバイザー22名)	派遣回数9回 (家庭読書アドバイザー22名)	派遣回数11回 (家庭読書アドバイザー18名)	派遣回数35回	コロナ禍により参観日等での実施が困難となり、特に公立保育園での実施が大きく減った。関心度の低い保護者にどう伝えていくかが課題。	こども図書館 (生涯学習課)
	ソーシャルメディアを活用した啓発・広報の強化【新】	—	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 1回 (R3.3.10～開始)	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 23回	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 12回	コロナ禍による影響を受けにくい取組の為、積極的に実施することができ、目標値を大きく上回った。	中央図書館 (生涯学習課)
学校等	読書活動の全体計画・年間指導計画の活用・見直し	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	全ての小・中・高等学校で現計画を活用し、毎年見直しを行う。	全ての学校で見直しができおり、取組を引き続き継続していく。	指導第一課 指導第二課
	本や資料を基に情報を活用する力を育てる指導の充実	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 91.5% 中学校 90.6%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 ※4 小学校 — 中学校 —	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 96.5% 中学校 79.7%	全ての小・中学校で様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導を行う。	概ね実施できているが、一部、取組が推進できていない学校があるため、学校訪問や司書教諭及び学校図書館担当教諭研修会、校長会等で、引き続き、周知していく。	指導第一課 指導第二課
連携	図書館と学校・学校図書館の連携・協力 ※5	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 78.9% 中学校 53.1% 高等学校 90%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 54.9% 中学校 3.1% 高等学校 100%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 66.7% 中学校 12.5% 高等学校 100%	全ての小・中・高等学校で図書館と連携した活動を行う。	コロナ禍により、小・中学校と図書館双方が出向いて行う取組が減っている。	中央図書館 こども図書館 指導第一課 指導第二課 (生涯学習課)

※3 参観日などの機会に幼稚園・保育園・認定こども園等に出向き、読書の意義や楽しさ等を保護者に伝えるボランティアのこと。

※4 「基礎・基本」定着状況調査学校質問紙調査（広島県教育委員会実施）による数値。 →令和2年度調査中止

※5 図書館訪問、職場体験学習、学校への蔵書・資料等の貸出や出前事業（おはなし会等）等のこと。